



深水の効果を
引き出すための
薬も塗っていきますね

一時的に
強く反応が
出てしまうことも
ありますが
体に害は
ありませんので



この治療で
心身全快になるの



という
ところですね
なるほど！
だいたい
状態は分かりました

フリーの遊業士
何人も治療し
医師
慢性的な疲労
精力回復の鏡
感覚の異常

度重なる激戦で
おかしくなってしまった
カラダを直すために
治療院を訪れたカグヤ



体の状態が
ギリギリで
一刻も早く
治療が必要だった
カグヤは

とにかくもう
その男に
頼るしかなかった



はい

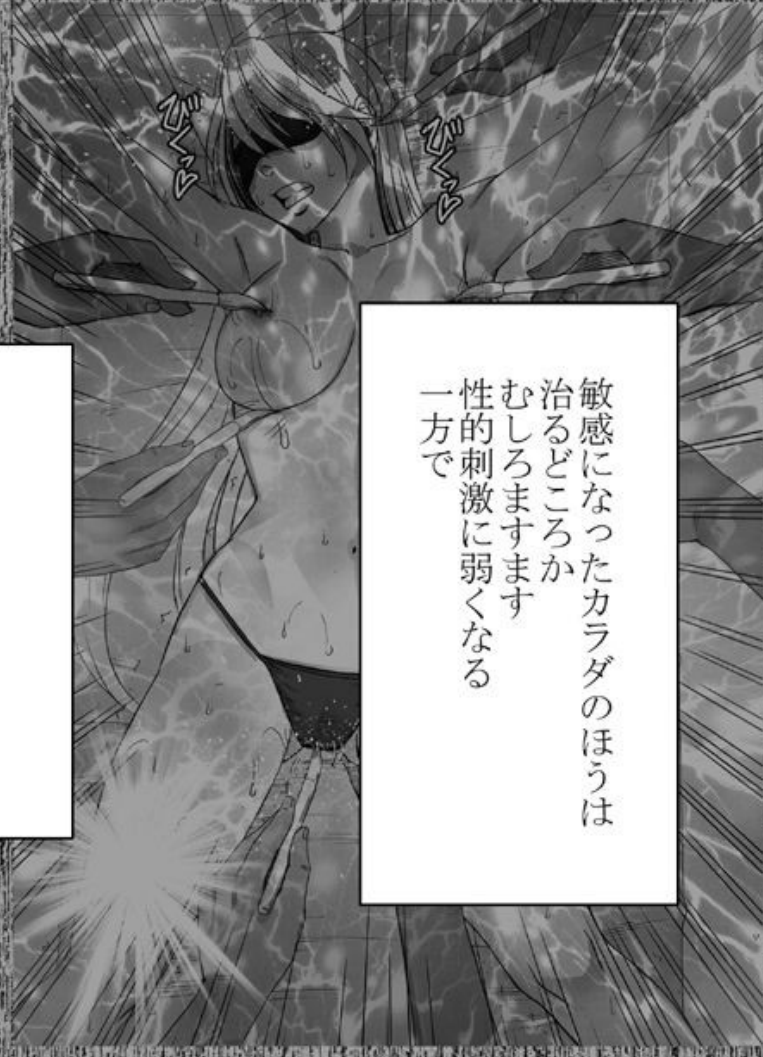
予定通り
終わりました



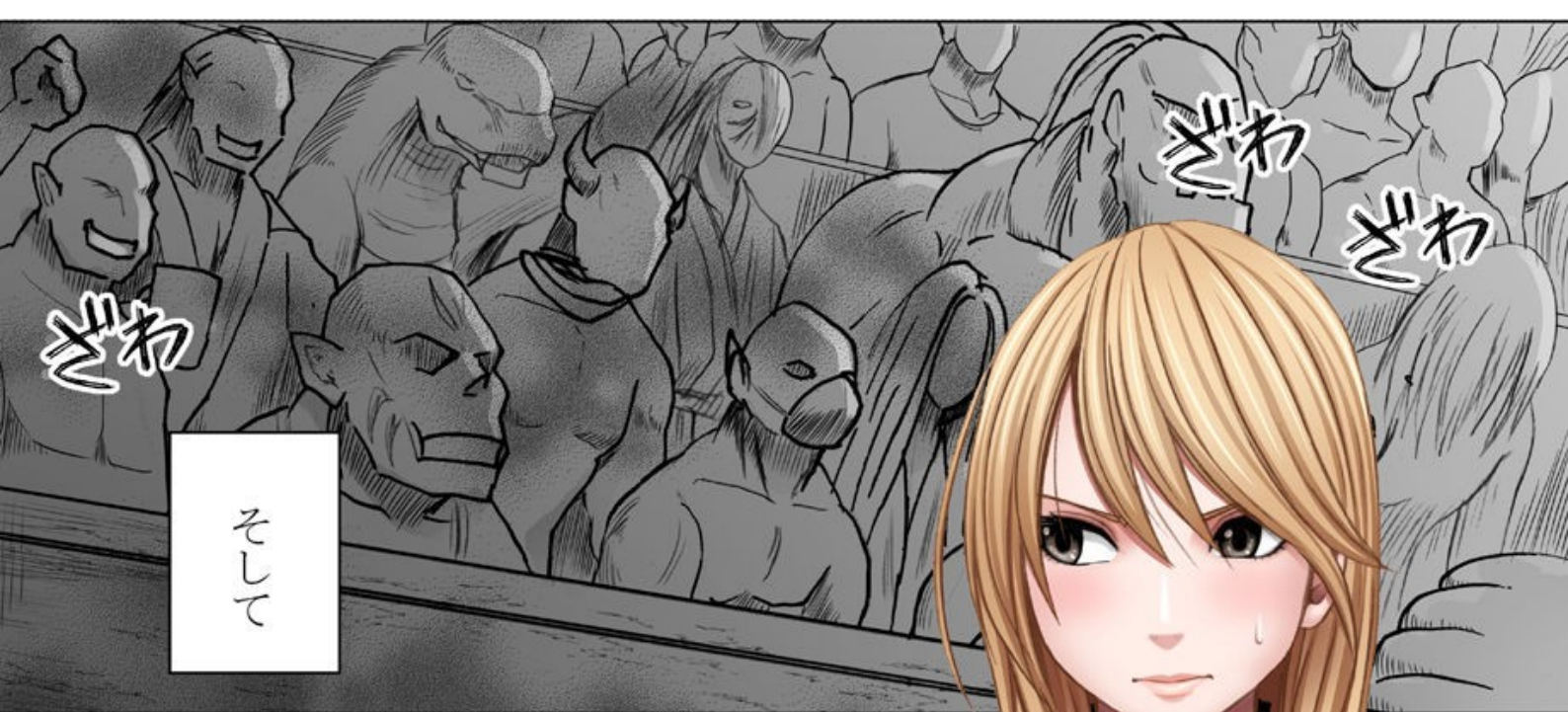
感度も最大限まで
引き上げてます

激しい性感帯への
施術の連続で

イカされすぎて
失神してしまう



敏感になったカラダのほうは
治るどころか
むしろますます
性的刺激に弱くなる
一方で



そして



目が覚ました
彼女を待っていたのは





妖魔たちの
闘技場だった



ククク
ようこそ
闇の闘技場へ

今日の挑戦者は
フリーの中では
最強と言われている
退魔士！

あの淫狐ナユタをも
倒した豪傑！



カグヤ選手だ！

ルールは簡単だ

カグヤ選手が
これから
ここで10人の
妖魔たちに勝てば

牢屋に捕らえられている
イケニエたちは
解放される

ただし
カグヤ選手が自ら
負けを認めた場合

あのイケニエたちの
命は保証しない

状況は
よく飲み込めないけど

じつは
やることは
変わらない！

あの人たちを
助けなきゃ……！！

いつものように
退魔士として

さあカグヤ選手は
あのイケニエたちを
救い出すことが
できるか？

人に仇なす
妖魔を倒す！

それだけのこと……！！

少なくとも
霊力は
回復してる……!!

やる……!!

やるしかない!!





.....!!



ざわ

気をつけろ!

ざわ

うかつに
近づくな!



ざわ

おーっと
カグヤ選手

開始早々
妖魔一人
撃破!

ざわ




ざわ

頑張れ!


あの女の子
強いぞ!

頑張れえ!





なぜ
突然 闘技場に
連れてこられたのか？




なぜ
このようなことを
させられているのか？

つよい…!!

アインが
やられた!!

状況はまだ
飲み込めては
いなかったもの

捕らえられた
人間たちの
期待を一身に背負い
戦うカグヤ




前日まで受けていた
治療のおかげで
霊力だけは万全の状態であり

ほぼフルパワーでの
戦闘

次から次への
妖魔たちをなぎ倒す

そのたびに
あがる歓声



オレたちは
助かるかもしれない!

いけるぞ!

強い!

しかし

そんな期待も
長くは続かなかつた

戦い初めて
3時間

あ あ あ あ

フオフオフオ

まさかここまで
やるとは
思わなかったわい

数が多いすぎる……!

くっ……
ダメだ……

終わらない!!

あ

あ



結構
上級のヤツらも
やられましたよ

これまで来た
女退魔士の中では

段違いで
強かったんじゃないか？

それでももう
さすがに
限界みたいだな



……!!

そろそろ
大人しくなって
もらおうか



ダメだ……!!

もう
疲労で体が……!!

……!!



あああッ!
ああああ

さて
そろそろ

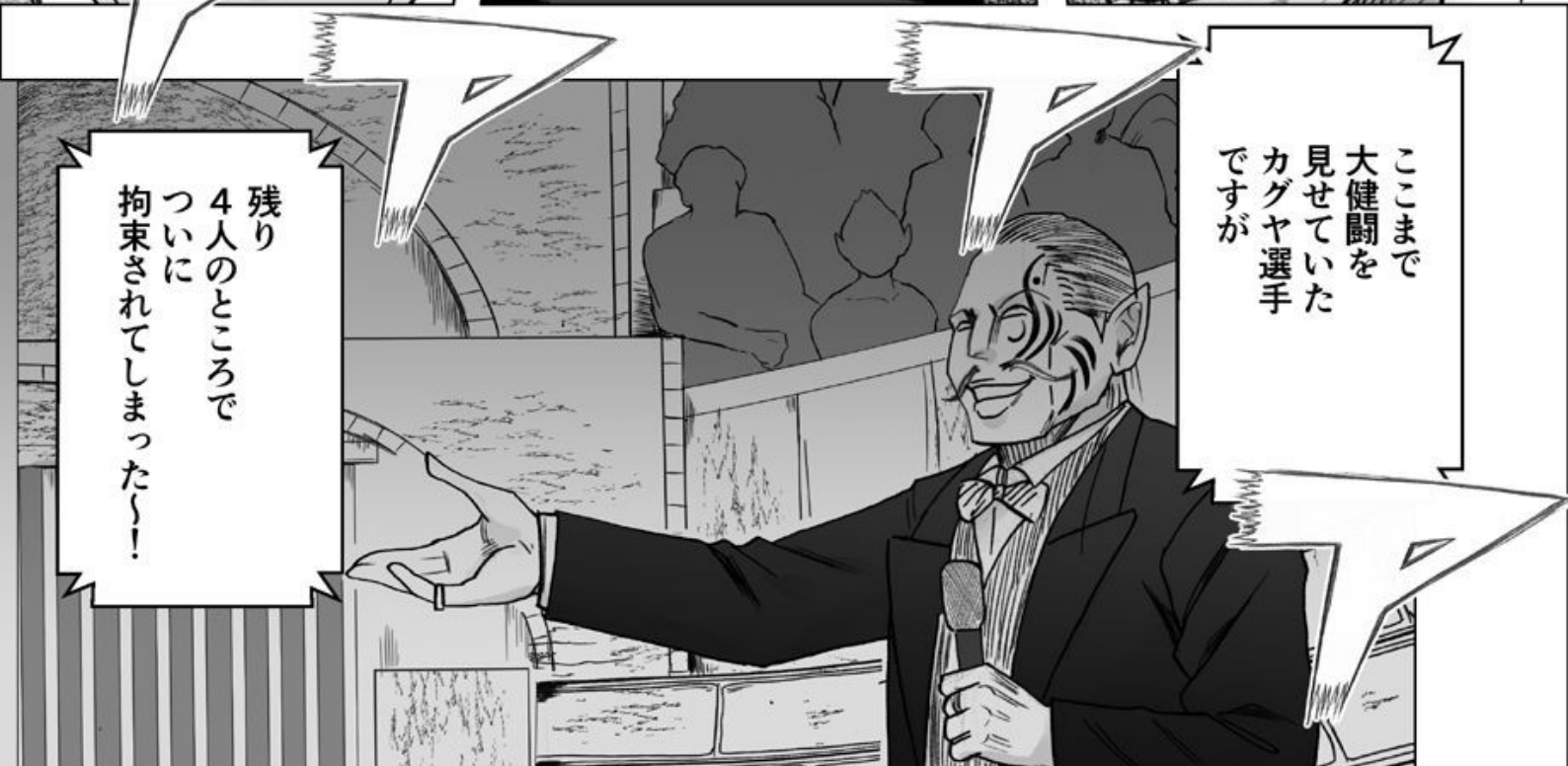
みんなのヒロイン様を
公開処刑する
時間かな?



双輪拘束法

!!

ハッ



フフフ
戦いはここから

ここからは
ショーの始まりだ

やっ……

ズン
ズン

ズン
ズン

好き♡
好き♡

ズン
ズン

ズン
ズン

ここからあなたは
恥ずかしい姿を
晒し続ける
ことになる

ここまでの
戦いは
お膳立て

あくまで
ヒロインに
仕立て上げるための
お膳だて

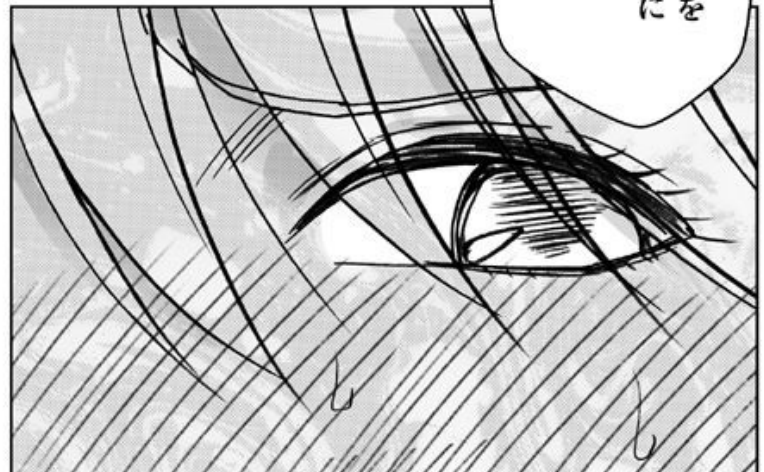
今まで
自分たちを
救ってくれると
思っていた
正義のヒロインが

なすすべもなく
犯される

そんな光景を
目の当たりに
することで
にじみ出る
歪な欲望

あの牢獄は
それを吸収する
ための装置

……!!







淫水をかけるまでも
なかったか？

もうすでに
カラダは
調教済みか？



おや？

ずいぶんと
敏感じゃないか？

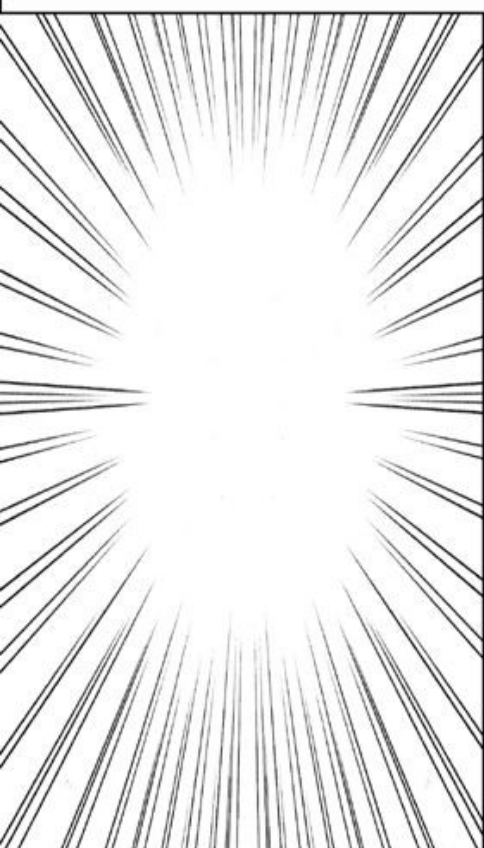


あついでいしまふ…！



あ…あ…あ…

こんな攻めを
受けたり…もつ…！





BANG!

BANG!

NY
NY

GASH!

BANG!

GASH!

GASH!



ふふふ
イケニエたちも
戸惑い始めたぞ？

お…おい…
大丈夫なのか…？

負けを
認めさえ
しなければいいんだ

あいつらの命を
奪ったり
することはない

安心しろ
お前が
負けを認めない限り



我慢なんて出来ない！







こんなカラダの状態
一度にいろんな場所を
同時に
責められたら…!

どうやって
我慢したらいいのか
分からない…!

ほら
もっといやらしく
カラダをくねらせて
いやらしい声で
喘ぐんだ

アッ♡

アッ♡

アッ♡
アッ♡
アッ♡

ダメだ…!!

みんなが
見てるのに…!!

アッ♡

アッ♡

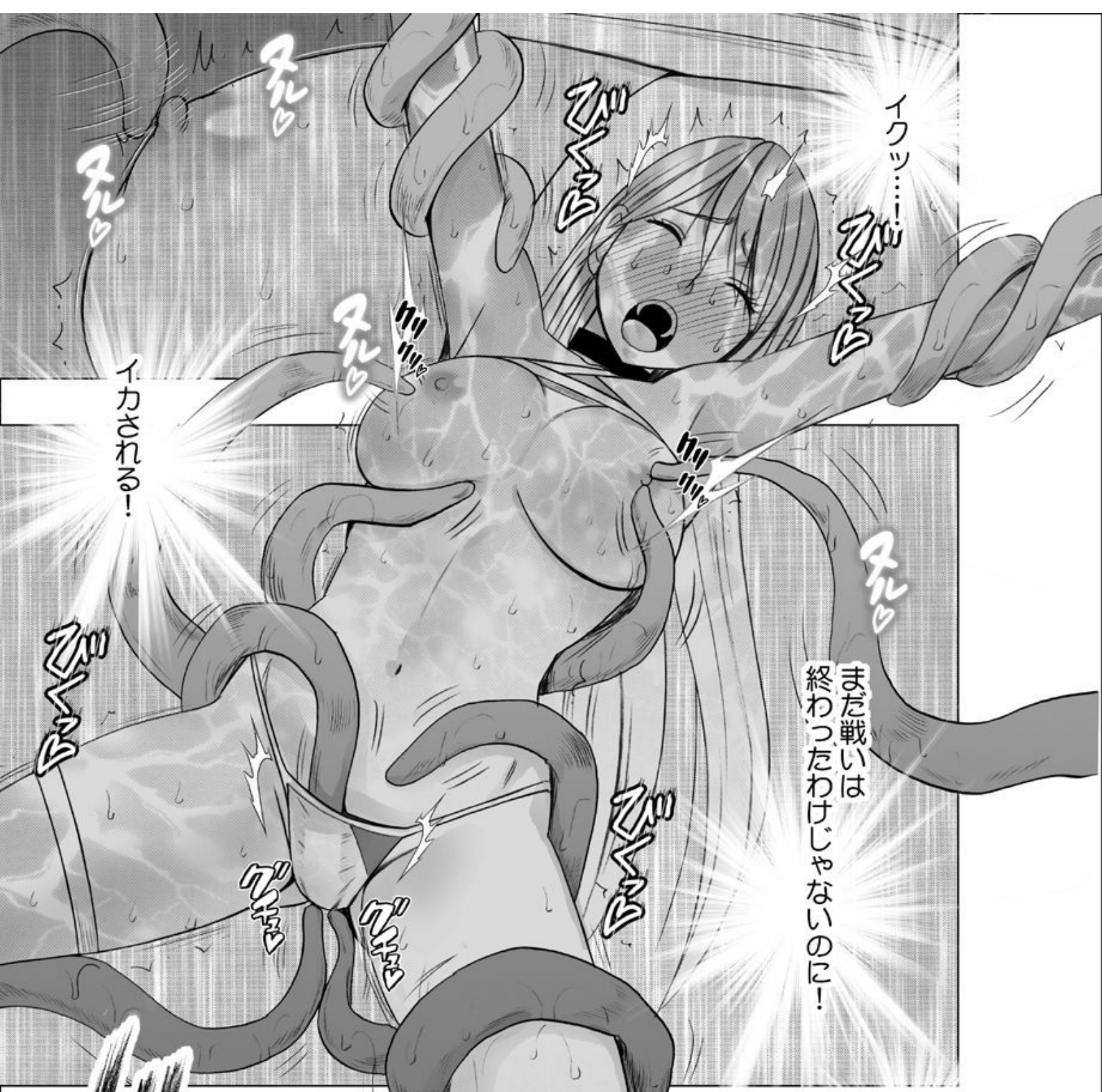
アッ♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡





イクツ……!

ズンズン

ズンズン

ズン

ズン

イカされる!

ズン

グググ

グググ

ズン

まだ戦いは
終わってわけじゃないのだ!

ズンズン

ズンズン

グググ

グググ



人質も救出
できてないのだ!

ズンズンズン

こんなに
気持ちの
よさを
わせられるなんて……!





すでに
淫水で何度も
調教されてるようだが

次はオレだ



マテンタは
5回か

まずまずだな



オレは
淫魔始祖の眷属

オレの精液に混じってる
淫水は妖魔の中でも
特別だからな

淫水を塗られたところが
敏感になるだけじゃない

淫水を浴びた途端に
イクんだ

Yll
Vlav

Yll
Vlav



あああーダメ！

何なのコレ……！

液体に触れた部分が
熱くなって！

ほらほら

ダメ……！
本当に！

次はココに
直接
ぶっかけてやるよ

ドキッ

たっぷり出してやるから
イキまくれよ！

シャアア

ほら

ハッ

ドキッ





次は
口の中に
直接注ぎ込んで

カラダの
内側から
イカせてやるよ



ダメ…!
ダメダメ…!



イクッ……!!

ハッ

ハッ

ハッ



私は
自在に体の形を
変えられますからね

ゴゴゴ



次は私の番ですね

フッフ



これからこの体を
いろいろ
変形させて

あなたにとって
最高の

一番気持ちよくなる
形態を探っていきましょうか

何なの
この妖魔は……!?

……!!



それぞれの
性感帯を

もっとも
気持ちいい
責め方で

アハハ

アハハ

ヤッ

アハハ
アハハ

あハ

アハハ
アハハ

ど「ままでも
絶頂に
導いてあげましょう

ああ……！
性感帯……！

アハハ

（あ）

（あ）

探らねてさあ……

アハハ
アハハ

アハハ
アハハ

いや...
もっとこうですか？

膣内は...
こう...？

フフフ いい反応だ
どうやら
こういのが
一番イイみたいです







イク……！ イク……！

7070

7070

あーあーあー

んんんんん

んんんんん

あーあーあー



イカされる...!!

ゴゴ

ゴゴ

ンンン

ンンン

ンンン

スッ

オヌシのカラダの
性感帯をすべて
胸に集中させてやろう

自在に操ることが
できるのじゃ

ワシは
女体の性感帯を

フフフ...

次は
ワシじゃな

12回か

フオフオフオ

（お）

（お）

性感操法



!!!



驚くほど
気持ちイイから
覚悟せい



さあこれで
オヌシの性感帯は
胸に集められた

フッフフ……

触ると
どうなるかな？



ほれ

ズン
ズン

んん
んん

んん
んん





ただでさえ
全身性感帯である
オヌシが
その性感帯を
一点に集中されたら

もうひとたまりも
あるまい



ダメだ……！こんななの！

見ないで……！



ほれほれ
みんな
見ておるぞ



さっきまで
あんなに

勇ましいオヌシの
活躍に
目を輝かせていた
あいつらが



びしょ

びしょびしょ

ガマンできるわけない……!!

びしょ
びしょ

びしょ
びしょ

そうそう
これは

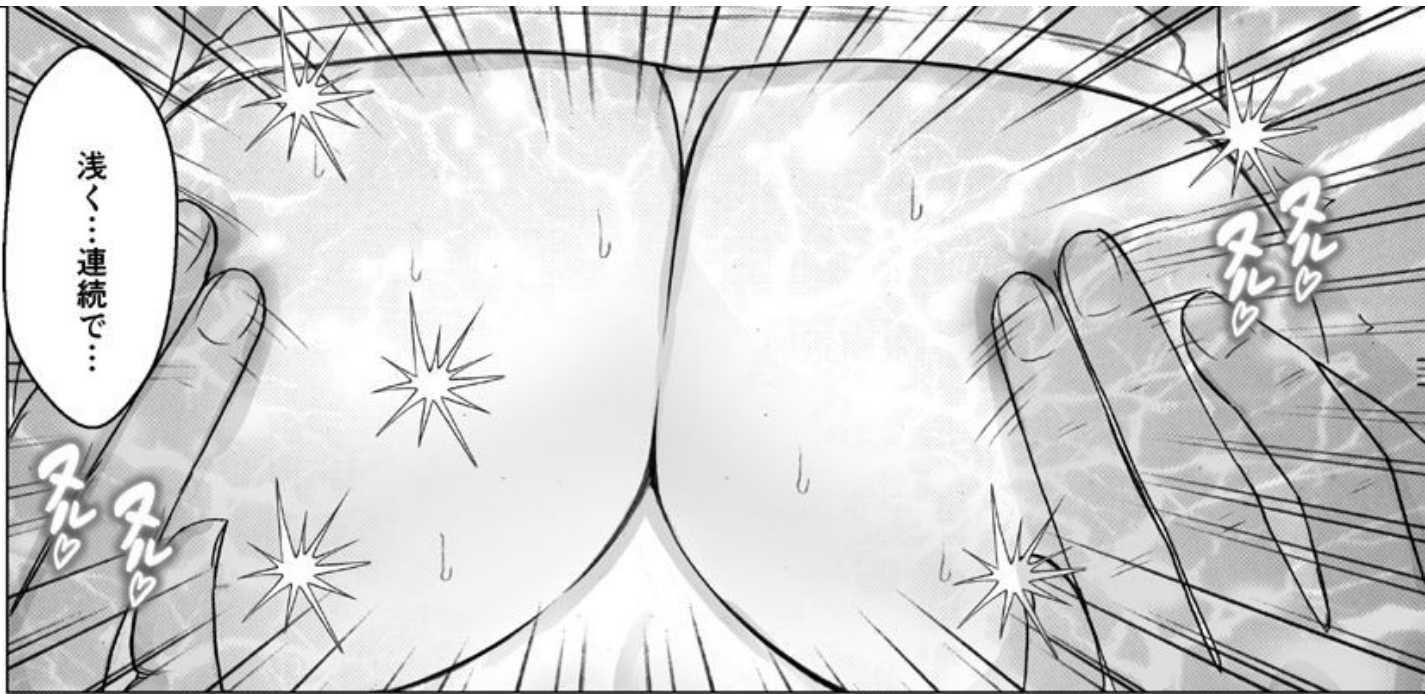
あ あ
イク回数を
競う勝負じゃったな

回数だけ
イカせるのなら

あまり
深くイカせないほうが
良いかな？

どれどれ
連続でイカせてやろう

ほれ
淫水も追加して
やろう





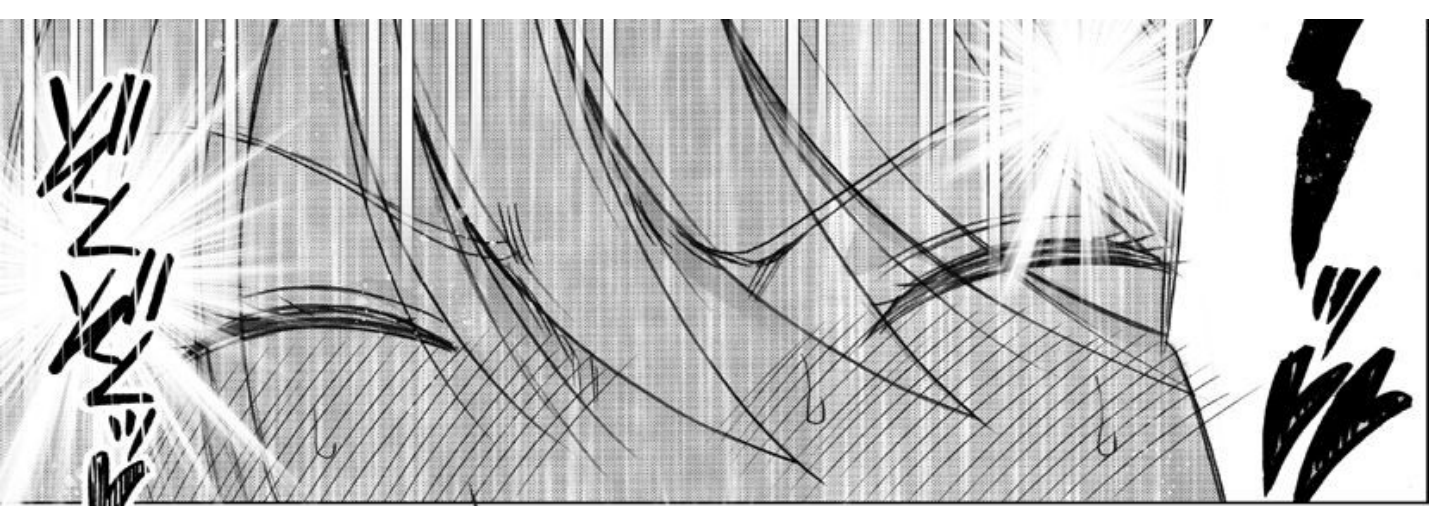






アッ……

アッ



これは
とんでもなく
イイモノを持つてる
女じゃないか

伝わってくるぞ

オヌシの女陰から
美味な靈力の
感覚が…！

フオフオフオ

こんな…!!

みんなが
見てる前で…!!

そうそう
乳首に性感帯を
集中させてたん
だったな

グイッ

アッ
アッ
アッ

ハ
ハ
ハ

アッ
アッ

アッ
アッ





どうかな？
乳首を翳られながらの
挿入は…

アッ♡…



すべての性感帯を
臆内に
集中させてな



フオフオフオ
あとでちやーんと
女陰でも
イカせてやろう



ただ
それをやると
あまりの快感で
耐えられないかも
しれんのでな

最後までに
しておいてやろう

びくびく

びくびく

びくびく

びくびく

びくびく

びくびく

びくびく

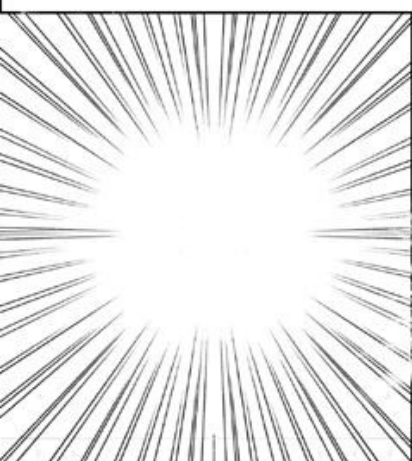


あゝあゝ
美味そうだな

オレも挿入アリの
ルールだったら
イカせ勝負
絶対勝てるのにな

フフフ
確かに
挿入しながら
イカせたら
さぞ美味しいの
でしょうね

まあまあ
順番を
待ちましょう



ダメだ……!

くっ……!

イカされすぎて
霊力が…もう!!

もう…
勝てない…!!





あの
イケニエたちは
終わりじゃぞ？



フオフオフオ
いいのか？
あきらめても…

負けを認めたら



はじめに言った通り

オヌシが自分から
負けを認めない限りは
あの者たちの命は
保障される

たとえこのまま
イカされ続けて
失神したとしても

自分から負けを宣言さえ
しなれば
いいのじゃ



自分で負けを認めさせ
しなければ…!!

みんなの命だけは…!!

ズン

ズン

ズン

ズン



私はこのまま…!!

やられ続けるしかないの!?



ズン



せめて…!!

意識だけは
はつきり保ってあかないと!

ズン

通常の戦闘はもう終わり

オヌシが勝つのはもうありえぬ

観客が期待しているのは次の勝負

ここからはオヌシが堕ちるかどうかの戦いじゃな
フオフオフオ

ほら
そろそろ乳首以外に性感帯を移動させてやろう

まずはすべての性感帯を背中に：

ズッ
ズッ

そして尻に…





ここから
すべての性感帯を

まだじゃ
まだイッては
ならんぞ？

女陰に…！

ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン



うっ……!!

こんなにツ!

ダメ!

イクツ!

イクツ!

ダメダメダメ!

意識が飛ぶツ!



